

(報告) 令和元年度事業報告について

令和元年度事業報告
自：2019年4月1日
至：2020年3月31日

令和元年度の社会・経済情勢の悪化要因は、年明けから今なお全世界規模で影響をおよぼしている「新型コロナウイルス」感染拡大であります。

期末に集中したWHOの「パンデミック宣言」、「東京オリンピック・パラリンピック延期発表」に続き、事業年度があらたまった4月7日には「緊急事態宣言」が発出されました。事業年度開始前に理事会承認を得た「令和2年度事業計画」につきましても、現状では違和感を覚えるように時々刻々と情勢が変化しております。

健診運営に関する感染症拡大防止対策の動向を、企業ならびに学校の保健スタッフにお伝えし、迅速に対応いたしました。3月以降「定期健康診断」「学校健診」「特定健康診査」について、実施時期を猶予する通知が厚生労働省より発出され4月に予定していた大学の健診・企業健診の大多数が延期となり、スケジュールの大幅な変更をすることとなりました。「新型コロナ」の終息が見通せない状況下での延期要請であり、順延を繰り返さざるを得ない状況となりました。検診車と運営スタッフの配置計画を立案するうえで、大きな障害となっておりますが、当協会は会員・顧客の皆様と綿密な協議を重ね労働衛生機関としての責務を全ういたします。

期末には「新型コロナウイルス感染症」の影響が大きく作用し、事業環境が著しく悪化いたしました。令和元年度の年間を通しての受診者総数は前年度を約8千人上回る29万人規模まで回復することができました。

当期から向こう3年間「風しん」の抗体検査とワクチン接種を無料とする制度が導入され、本制度の普及啓発を図るべく職域の定期健診に抗体検査を組み込み効率的に受検することを推進し、一定成果をあげることができました。

2015年12月に義務化されたストレスチェックは僅かに減少傾向を示しましたが2008年から開始した「特定保健指導」につきましても、前年度に引続き実績が拡大いたしました。当協会は需要規模の増減に拘わらず、継続的にその要請にお応えいたしました。

当協会は企業の産業医ならびに産業保健スタッフの皆様へ健診関連の情報を迅速且つ的確にお伝えし協議を重ね、受診者の皆様の健康維持・管理に貢献いたすべく取組んで参りました。

今後も「感染症拡大防止策」の動向を注視し、安全・衛生面に特段の配慮をした良質な健康診断サービスを提供するとともに、引続き「風しんの追加的対策」「職場におけるがん検診」を推進し、働く人々や地域住民の皆様への心身両面での健康の維持・管理に貢献いたすべく邁進いたします。

I. 事業内容

【健康診断事業】

(1) 健康診断の実績

令和元年度の健康診断受診者総数は291,952人となり、前年度の受診者総数を8,192人上回りました。

下表に示すとおり、職域関係・地域住民関係の両方で約1万人の増加となり、学童・生徒・学生では僅かに減少いたしました。

平成28年度に一旦27万人規模まで落ち込んだ実績を30万人まで回復すべく取組みましたが、当期では達成できない結果となりました。

しかしながら当協会は、工場内診療所における健診運営の補助業務や産業医のご紹介、環境省を発注者とする「子供の健康と環境に関する全国調査（パイロット調査）」の会場運営に協力する等、受診人数に表れない部分におきましても、皆様の健康管理に貢献いたすべく、多角的に取り組んでおります。

<受診者区分別前年度対比表>

受診者区分	受診者数		差異 R1年度-H30年度
	平成30年度	令和元年度	
1) 職域関係	235,037	238,525	3,488
2) 地域住民関係	7,396	14,780	7,384
3) 学童・生徒・学生	41,327	38,647	△ 2,680
1)～3) 総合計	283,760	291,952	8,192

(単位：人)

健診区分別実績の詳細は別表（10ページ）のとおりでありました。

(2) 「風しん」抗体検査の実績

当期から「風しん」の感染リスクが高い39歳～56歳の男性を対象に抗体検査とワクチン接種を無料とする制度が導入され、当協会は定期健診と同時に抗体検査を受検することを推進いたしました。制度導入初年度の実績は下表のとおりでありました。

<令和元年度風しん抗体検査受検者数前年度対比>

	平成30年度	令和元年度	R1年度-H30年度
風しん抗体検査受検者数 (受診券利用者数)	4,305 (制度導入前)	5,730 (1,237)	1,425

(単位：人)

新型コロナ禍の鎮静化をみたところで、本制度の活用を想起いただき「風しん」根絶の一助となるべく取り組みます。

(3) 「ストレスチェック」

本格的稼働に入って4年を経過した「ストレスチェック」の実績は、以下

のとおりでありました。当協会は全衛連が推奨する定期健康診断と同時に効率的に受検することを提案いたしました。ストレスチェックについては企業の専属産業医が独自に取り組まれる事例が多数を占めました。今後も全衛連のシステムを利用し、「ストレスチェック」の要請にお応えしメンタルヘルス対策に貢献いたします。

＜ストレスチェック実績 推移表＞

年度 区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
受託事業場数	102	130	81	75
受検者総数	15,699人	19,806人	11,602人	10,452人

(4) 特定保健指導

当期の特定保健指導は、以下のとおりでありました。

＜特定保健指導実績 推移表＞

年度 区分	H29年度	H30年度	R1年度
動機付け支援	264 件	605 件	618 件
積極的支援	392 件	746 件	998 件

前年度に引続き、工場内診療所における「特定保健指導」を担当し、実績を進展することができました。働く人たちの健康増進に寄与すべく選択した公益目的支出の継続事業を着実に履行いたしました。

(5) 内部被ばく線量測定 (Whole body counter) 搭載車の稼働状況

環境省が取り組んでいる「福島県内における住民の個人被ばく線量把握事業」について(公財)原子力安全研究協会のご指導のもと、当協会が保有するWBC搭載車を現地に派遣し、自宅に帰還または帰還予定の皆様への不安軽減に貢献いたしました。稼働日数の推移は以下の通りでありました。原子力安全研究協会との協調により、平成29年度以降堅調な稼働状況となりました。

＜WBC搭載車 稼働日数の推移表＞

(単位：日)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
稼働日数	9	88	87	86

【事務センター】

健康保険組合の健診関連事務を代行する「事務センター」が本格稼働を開始して6年が経過いたしました。主要業務の処理実績は下表のとおり年度により僅かな増減はありますが、堅調に推移しております。

事務センター事業は、半世紀以上におよぶ巡回健診事業と比肩する重要な事業部門となりました。

＜主たる業務の業務別処理実績推移表＞

(単位：件)

業務年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R 1年度
①予約管理	202,484	190,917	201,243	191,185	199,453	182,569
②請求管理	194,815	249,928	243,740	246,801	236,718	236,632
③結果処理	214,101	248,377	243,009	248,613	243,847	243,624

本年度は「健診結果の電子データ化による一元管理」を実現いたすべく地方の委託先に対する説明会を実施いたしました。

7月には健康保険組合・日本医師会・当協会の3者が協調し、日本医師会が作成した「健診データ標準フォーマット」を利用する全健診データ一元化プロジェクトが始動いたしました。来年度4月のスタートに向けシステム改修を取進めると同時に委託先健診機関に対する所定フォーマットでのデータ提供を周知徹底いたしました。

事務センターが担う健保の保健事業関連の代行業務は、徐々に拡大しております。

前述の発足当初からの主たる業務以外にも、あらたな業務を受託しそれぞれ以下に示す実績となりました。

＜その他の保健事業関連事務代行業務の推移表＞

(単位：件)

業務区分	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R 1年度
パート先健診結果取り纏め		393	340	166	13
立替・請求処理		3,423	7,816	8,086	6,901
インフルエンザワクチン接種補助審査		—	108,719	109,563	120,690
保健指導結果・請求処理		—	2,682	7,400	14,951
歯科検診結果・請求処理		—	22,676	21,003	19,604

当期後半には、健保組合が開発した健診機関と受診者がWebを利用して直接受診予約を管理するシステムの運用を、当センターが担当することとなりました。このシステムの円滑稼働に傾注いたします。

II 技術研修会等

職員の技術力の向上を目的として、（公社）全国労働衛生団体連合会等が主催する各種講習会・研修会に参加するとともに、協会内部での研修会を開催いたしました。

30年度下期から開始した「eラーニング」の受講も継続して推進いたしました。

(1) 外部講習会・研修会

開催日	内 容	主 催
H31年 4月13日	OZAK新人研修会	特定医療法人 大坪会
R1年7月23・24日	検体検査研修会	(公社)全国労働衛生団体連合会
8月21日	取引基本契約審査の実務研修会	SMBCコンサルティング(株)
8月28日	選別聴力検査研修会	(公社)全国労働衛生団体連合会
9月7・8日	2019年度保健指導担当者研修会	(公社)日本栄養士会
9月11日	労働衛生サービス機能評価施設認定実務責任者研修会	(公社)全国労働衛生団体連合会
10月27日	第27回OZAK学術集会	特定医療法人 大坪会
12月10日	純音(気導)聴力検査研修会	(公社)全国労働衛生団体連合会
R2年2月14・15日	胸部X線検査研修会	(公社)全国労働衛生団体連合会
2月18日	特殊健康診断研修会II	(公社)全国労働衛生団体連合会

(2) 内部教育研修会

開催年月日	内 容
R1年 8月19～22日	「腹囲測定担当者研修会」 講師：医療技術部長 鈴木 健二、健診業務部長 関根 恵一
12月14日	「第19回年末研修会」 場 所：サンシャインシティ ワールドインポートマートビル 5F会議室 参加者：全常勤役職員・外部協力機関 3社 12名 ① 「各部のアクションプランの説明と進捗」 各部代表 各部のこれからのあるべき姿 ② 「各委員会・各部報告」 各委員会代表、各部代表 個人情報保護委員会・安全衛生委員会・CS・ES委員会・リスクマネジメント委員会・自主監査部会 ③ 「働き方改革について」 総務部 ④ 「ミス撲滅キャンペーン中間報告」 品質保証室 ⑤ 「目標に対する考え方」 渉外推進部 八嶋係長 ⑥ 「健康経営について」 MULヘルスケア(株) 部長 水戸川 拓臣 氏

	<p>⑦ 「個人情報保護継続セミナー」と理解度テスト</p> <p>講師：(株)エムシーオフィス 代表取締役 栗原 秀樹 氏</p>
R 2年 2月20日	<p>「採血手技研修会」</p> <p>場 所：当協会 3F会議室</p> <p>参加者：医療技術部員・協力スタッフ・健診業務部員・渉外推進部員</p> <p>テーマ：「医療安全の観点からみる神経損傷防止の採血」</p> <p>講 師：ニプロ(株) 国内事業部 松岡 浩正 氏</p>
R 2年3月6・7日	<p>「令和元年度（第9回）管理職層研修会」</p> <p>場 所：箱根仙石荘</p> <p>参加者：常勤役員、係長・主任16名+(株)健康プラザ部長代理 辻井 譲治 氏</p> <p>「健診データ標準フォーマットの利活用」 理事 宮内 保行</p> <p>「問題解決手順」 品質保証室</p> <p>「協会の価値向上プログラムについて」 各部係長・主任</p>

〔令和2年3月19日開催予定でありました「協力スタッフ健診運営実務者研修会」は感染症拡大防止対策として中止いたしました。〕

III 講演会の開催及びその他の発表、指導、協力等

(1) 講演会の開催

○ 令和元年6月25日

第54回定時社員総会終了後、社員ならびに顧客の皆様を対象に講演会を開催いたしました。

場所：リビエラ東京（豊島区）2階 会議室

演題：『超戦略的「人間関係」論』

講師：元中日ドラゴンズ、読売ジャイアンツ 捕手 小田 幸平 氏

(2) その他の発表、指導、協力等

○平成31年4月～令和2年3月「令和元年度 福島第一原発事故に伴う緊急作業従事者に係る健康相談等事業」に参加いたしました。

(公社)全国労働衛生団体連合会が主導して取り組んでいる上記事業の支援窓口機関として、協力いたしました。

○ 4月21日 バングラデシュ(ボイシャキ) 祭において胸部レントゲン撮影を含む無料健康相談ブースの運営に協力いたしました。

主催：ジャパン・バングラデシュ・ソサエティ

後援：豊島区、バングラデシュ大使館

場所：東池袋中央公園

○ 10月 2日 『産業保健フォーラム IN TOKYO 2019』に協力いたしました。

サブタイトル：支えあい はたらく～あなたの豊かな人生のために～

主催：東京労働局、（公社）東京労働基準協会連合会、東京産業保健総合支援センター

場所：「ティアラこうとう」（江東区住吉2-28-36）

健康測定コーナーにおきまして、例年どおり骨密度測定・転倒リスク測定・簡易体力測定を実施いたしました。

○10月31日 令和元年度『港地区健康と安全推進大会』に協力いたしました。

主催：港地区健康と安全推進大会実行委員会

代表世話人：三田労働基準監督署

場所：「ハローワーク品川」（港区芝5-35-3）

脳年齢・骨密度・体力測定等、健康指導を実施いたしました。

〔 ・ 令和2年3月3日開催予定でありました「第51回健康医学研究会」
・ 令和2年3月5日開催予定でありました「令和元年度江戸川健康づくりセミナー」
は感染症拡大防止対策として中止となりました。 〕

IV 外部精度管理への参加状況等

公益社団法人全国労働衛生団体連合会が主催する以下の精度管理調査に継続的に参加いたしました。

①令和元年度 胸部エックス線検査精度管理調査

評価A (R1. 11. 29)

②令和元年度(第33回)労働衛生検査（鉛・有機溶剤・特定化学物質に係る

代謝物等の検査）に関する精度管理調査

評価A (R2. 3. 2)

③令和元年度胃X線（第2回）検査精度管理調査

評価B (R2. 4. 1)

④令和元年度臨床検査精度管理調査

評価A (R2. 4. 6)

V 会議の開催

- (1) 定時社員総会：令和元年 6月25日
- (2) 理 事 会：令和元年 5月29日
令和元年 6月25日
令和元年10月30日
令和2年 3月23日

(3) その他

- ・常勤理事会
 - ・ライン会議
 - ・品質保証委員会
 - 1) CS・ES委員会
 - 2) T・Cリスクマネジメント員会
 - 3) 医療技術委員会
 - ・安全衛生委員会
 - ・機関誌編集委員会
 - ・個人情報保護委員会 適宜開催
- } 毎月定例開催

VI 研究資料の配布等の広報活動

(1) 事業年報の配布

平成30年度定期健康診断を実施した「職域関係」の有所見率を検査項目別に分類集計した統計結果と協会の平成30年度のトピックス等を掲載した事業年報を作成し、会員・顧客の皆様に配布いたしました。

(2) 機関誌「あおぞら」9・10号を発行しました。

当協会の機関誌「あおぞら」を発行し、板橋本部の各部と事務センターの近況報告に加え、提携検査機関の協力を得て「ドーピング検査の現状について」を掲載し皆様に提供いたしました。

VII 関係団体への協力等

- | | | | |
|---------------------|-----|-----|------|
| ①(公社)全国労働衛生団体連合会 | 監 事 | 会 長 | 大坪 修 |
| ②東京都産業保健健康診断機関連絡協議会 | 副会長 | 会 長 | 大坪 修 |
| | 理 事 | 理事長 | 白川 毅 |

VIII 会員の異動状況

(R 2, 3, 31現在)

会員区分	前期末	増加	減少	当期末
法人正会員	20	0	1	19
個人正会員	23	3	3	23
法人賛助会員	11	0	0	11
個人賛助会員	0	0	0	0
合計	54	3	4	53

(別表)

平成元年度健康診断区分別受診者数一覧表

1) [職域関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
雇入れ時	5,681	
定期健康診断	62,372	
特殊健康診断	25,078	詳細は別記参照
生活習慣病健康診断	118,728	
その他健康診断	18,384	二次精密検査、定期追加検査含む
歯科	8,282	簡易歯科チェックを除く
合計	238,525	

別記 (特殊健康診断内訳)

健診区分		受診人数(人)	備考
法定	じん肺	547	
	鉛	377	
	有機溶剤	7,764	
	特定化学物質	6,395	
	電離放射線	980	
行政指導	石棉	532	
	有害光線	535	
	騒音	4,146	
	振動工具	285	
	腰痛	575	
V D T		2,942	
合計		25,078	

2) [地域住民関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
住民健康診断	14,780	行政・地区医師会よりの受託、及び事業所家族

3) [学童・生徒・学生関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
学童健康診断	38,647	学童・高等学校・専門学校・専修学校・大学等

1) ~ 3) 合計 291,952人

事業報告書の附属明細書

一般社団法人 労働保健協会

該当事項が無いため、記載を省略いたします。